

N-スシニルオルニチンカルバモイルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2013

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素はN-スキシニル-L-オルニチンに特異的であり、L-オルニチン（EC 2.1.3.3、オルニチンカルバモイルトランスフェラーゼを参照）やN-アセチル-L-オルニチン（EC 2.1.3.9、N-アセチルオルニチンカルバモイルトランスフェラーゼを参照）を基質として使用することはできません。しかし、単一のアミノ酸置換（Pro90 → Glu90）によって、この酵素はN-アセチル-L-オルニチンを基質として使用する酵素に切り替わるのに十分です。この酵素は、必須嫌気性菌 *Bacteroides fragilis* における新規アルギニン生合成に不可欠であり、この生物がアルギニンを合成するための代替経路を使用していることを示唆しています。

別名 スクシニルオルニチン転カルバミル化酵素; N-スクシニル-L-オルニチン転カルバミル化酵素; SOTCase

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.1.3.11

反応 カルバモイルリン酸 + N2-スクシニル-L-オルニチン = リン酸 + N-スクシニル-L-シトルリン

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。